

デートDVは高校生にとっても身近な問題です。「自分には関係ない」と思っている人もいるかもしれません。今、付き合っている人がいない人も、これから社会に出て行く中で、たくさんの出会いがあるはずですが、そんな時に、自分だけでなく、自分が大切にしている人を傷つけないように、デートDVについて考えてみましょう。

デートDVって何?? …好きな人と一緒にハッピーなはずなのに…なんだかツライ…怖い…

『DV』とは、英語の Domestic Violence (ドメスティックバイオレンス) の略で、夫婦や恋人など親密な間で起こる体や心への暴力のこと。中でも、彼氏・彼女といった交際相手からの暴力を『デートDV』といいます。なぐったり蹴ったりするだけでなく、相手を必要以上に束縛することで恐怖心を与えたり、心を傷つけたりすることも暴力にあたります。相手を思い通りに支配しようとする言動が『デートDV』なのです。



他人事ではない！あなたは大丈夫？二人の関係をチェック！

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> “バカ” “ウザい” “デブ” などと傷つくことを言う | <input type="checkbox"/> 「別れるなら死ぬ」と言っておどす |
| <input type="checkbox"/> 気に入らないとすぐに怒ったり、物にあたりたりする | <input type="checkbox"/> 無視する |
| <input type="checkbox"/> 二人のことも自分だけの都合で決める | <input type="checkbox"/> なぐったり、けったりする |
| <input type="checkbox"/> スマホを勝手にチェックしたり、アドレスを消したりする | <input type="checkbox"/> 友達との付き合いを制限する |
| <input type="checkbox"/> 「好きならいいはず」と、気の進まないことをする | <input type="checkbox"/> デートの費用を全部出させる |
| <input type="checkbox"/> 写真を無理に撮ったり、要求したりする | <input type="checkbox"/> 借りたお金を返さない |
| <input type="checkbox"/> しつこくLINEやメールを送り、すぐに返事をしないと怒る | <input type="checkbox"/> 優しいときと怖いときの差が激しい |

◎ ひとつでも該当する項目があったら、デートDVではないかと考えてみましょう。

どうしてデートDVをしてしまうのかな？どうしてデートDVから抜け出せないのかな？

若者のデートDV 9つの特徴

…現代性教育研究ジャーナル（2014年）より

- ① 性的要素が強い…二人の関係が急速に親密になると「私たちは特別な関係」と考えるようになります。性暴力被害にあっているのに、自覚できないこともあります。
- ② 『束縛＝愛情表現』…二人の関係が深まることで相手を「自分のもの」と感じるようになり、「愛しているから」「愛されているから」と束縛を愛情のひとつととらえてしまうこともあります。
- ③ しつとを理由にした支配…しつとは自分の自信のなさから生じる感情。その感情の裏返しとして相手を束縛、支配しようとします。また、いやだと感じてあきらめてしまうことでDVが固定化されてしまいます。
- ④ 恋愛幻想がある…恋愛をドラマティックなものだと思い込んでしまうのが若者の特徴。「漫画やドラマのような恋愛ができるなら、多少のことは我慢しなくちゃ」と思ってしまうのが恋愛幻想です。
- ⑤ ピアプレッシャー…彼氏・彼女がいることで周りから「リア充」と言われたり、「大人になった」と考えたりする傾向があります。「別れたら誰とも付き合えないかも」という不安から暴力を我慢してしまうこともあります。
- ⑥ 暴力を認める傾向…荒っぽいことが魅力的だ、といったメディアの影響もあり、親密な相手に攻撃的になることが「イケてる」と考えている場合があります。
- ⑦ 暴力のサイクルが短い…暴力にはサイクルがあります。①緊張期（加害者はイライラ、被害者はビクビク）⇒②爆発期（暴力をふるう）⇒③ハネムーン期（加害者は反省し、優しくなる）。若者の特徴として、この①～③のサイクルが短いため、昨日は泣いて「別れる」と言っていたのに、今日は二人でラブラブになっている…という姿に、周囲も混乱します。
- ⑧ 自分のことを知られすぎている…交際すると、お互いに全てをさらけ出すことが当たり前と考えがちになります。
- ⑨ 相談先を知らない…彼氏・彼女のことを親や先生に相談することに抵抗を感じ、一人で悩むことに。内閣府の調査では、主な相談相手は友人で、55.5%でしたが、42.7%は誰にも相談していません。

友達がデートDVしていたら…？

- ・暴力を認めない…「暴力はいけない」とはっきり伝え、解決方法を一緒に考えてあげましょう。
- ・暴力を否定しても、その人の人格すべてを否定しない…とった行動に焦点をあてるようにする。
- ・信頼できる大人や専門機関に相談する…高校生だけでは解決できないこともあります。

友達がデートDVされていたら…？

- ・まず友達の話をよくきいてあげる。
- ・「あなたは悪くない」とはっきり伝える…被害者は自分を責めてしまいがち。この言葉はとても大切です。
- ・信頼できる大人や専門機関に相談する。



デートDVで自分が被害者にも加害者にもならないためには、「気づく」ことが大切です。気になることがあったら、保健室に相談に来てください。相談窓口も紹介しますよ(^_^)v